

108.
コム・デ・ギャルソン オム・プリュス／
川久保玲
ジャケット、ジャケット、パンツ、
ネックレス
2020年春夏
綿平織、ポリエステルピケ、模造パール、
メタルプレート
株式会社コム デ ギャルソン

109.
コム・デ・ギャルソン オム・プリュス／
川久保玲
ジャケット、ドレス、ネックレス
2020年春夏
レーヨン／綿のフェイク・ファー、プリント、
模造パール、メタルプレート
株式会社コム デ ギャルソン

110.
記録映像オペラ
《オルランド》(抜粋)
2019年
ウィーン国立歌劇場

111.
トモ・コイズミ／小泉智貴
ジャンプスーツ
2020年春夏
ポリエステル・オーガンジー、
ポリエステル・グログランのリボン
KCI (Inv. AC13869 2022-1)

113.
アレキサンダー・マックイーン／
アレキサンダー・マックイーン
ドレス
2010年春夏
絹ツイル、絹オーガンザ、
デジタル・プリント
KCI (Inv. AC13148 2014-27-3)

デジタル・プリントで表現された爬虫類の
柄の組み合わせは、蝶や蛾の模様にも見
えます。このドレスをデザインしたアレキサ
ンダー・マックイーンは、ロンドンのサヴィル
ローで学んだテーリングの技術を基礎
にアヴァンギャルドな現代服で高い評価を
得ました。本品は、「プラトンのアトランティ
ス」と題したコレクションで発表されました。
古代に海中へ沈んだ伝説の島、アトラン
ティスと、地球温暖化による海面上昇など
が問題となる21世紀の状況を結び付け、
極限的な環境で進化する人間の未来
をファンタジックに表現しています。

114.
ヨシオクボ／久保嘉男
オーバードレス、シャツ、パンツ、
レギンス
2023年春夏
ナイロン・チュール、ワイヤー、
ポリエステル・ツイル、
ストレッチ素材
株式会社 groundfloor

115.
ヨシオクボ／久保嘉男
ヘッドピース
2023年春夏
ナイロン・チュール、ワイヤー、アクリル
株式会社 groundfloor

117.
ティエリー・ミュグレー
ドレス、ヘッドドレス
1984年秋冬
ポリエステル・ラメ、金属
KCI (Inv. ACS092 85-11-1、
ACS095 85-11-4)

118.
ソマルタ／廣川玉枝
ボディウエア スキンシリーズ
《PROTEAN》
2007年
ナイロン／ポリウレタン、無縫製ニット、
クリスタルガラス
KCI (Inv. AC12925 2012-40)

119.
ノワール・ケイ・ニノミヤ／二宮啓
ドレス、トップ、ショート・パンツ
2023年秋冬
PET 樹脂、色付きの玉、
ポリエステル・メッシュ、化繊のニット
株式会社コム デ ギャルソン

120.
AKI INOMATA
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border-》
2009年- (進行中)

東京、ニューヨーク、ベルリン、北京、パン
コク……。ヤドカリが背負うのは、世界各
国の都市を模した透明の「宿」です。作
家のAKI INOMATAは、都市風景を模
した宿をヤドカリに背負わせることで、国
境や制度といった人間の取り決めに軽々
と越境するヤドカリの姿をユーモラスに捉
えました。街を模した宿を着がえるヤドカリ
の姿は、環境に適応し、進むべき場所を自
ら選びながら生きる、生きものの本来の逞し
さを想起させます。本シリーズは現在進行
形で続いていて、「宿」となる世界各国の
都市は少しずつ増えています。

120-1.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (天壇、北京)》
2010/2019年
インクジェット・プリント
48.0×48.0
京都国立近代美術館

120-2.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (アイト＝ベン＝ハドゥ、
モロッコ)》
2010/2019年
インクジェット・プリント
48.0×48.0
京都国立近代美術館

120-3.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ニューヨーク)》
2010年
インクジェット・プリント
48.0×48.0
個人蔵

120-4.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (パンコク)》
2010/2019年
インクジェット・プリント
48.0×48.0
作家蔵

120-5.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ライヒスターク、ベルリン)》
2016年
樹脂
4.5×11.5×3.5
京都国立近代美術館

120-6.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ニューヨーク)》
2019年
樹脂
7.2×7.8×4.8
京都国立近代美術館

120-7.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ラ・リュージュ、パリ)》
2024年
樹脂
7.6×5.3×5.3
京都国立近代美術館蔵 (牧寛之氏寄贈)

120-8.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (チェジュ島、韓国)》
2023年
樹脂
5.0×7.0×5.0
作家蔵

120-9.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (ザーンセ・スカンス、
オランダ)》
2010年
樹脂
5.5×5.5×4.0
作家蔵

120-10.
《やどかりに「やど」をわたしてみる
-Border- (東京)》
2015年
樹脂
5.9×7.0×6.5
作家蔵

120-11.
《やどかりに「やど」をわたしてみる》
2016年
HD ヴィデオ (カラー、サイレント)
5分1秒
京都国立近代美術館

121.
リュウノスケオカザキ／
岡崎龍之祐
ドレス《002-lifelike-》
2023年
綿／ポリエステル、プラスチック、
ポリエステル
RYUNOSUKEOKAZAKI

122.
ジュンヤ・ワタナベ／渡辺淳弥
ジャケット、スカート
2000年秋冬
ポリエステル・オーガンジー
KCI (Inv. AC10362 2000-31-9AC)

123.
ジュンヤ・ワタナベ／渡辺淳弥
ドレス
2000年秋冬
ポリエステル・オーガンジー
KCI (Inv. AC10363 2000-31-10A)

124.
ヴィクター&ロルフ／
ヴィクター・ホステイン、
ロルフ・スノラン
ドレス「カロリーナ」
2005年春夏
絹サテン、モアレ、ファイユ、絹ファイユ、
ふくれ織、ワイヤー
KCI (Inv. AC11306 2005-5-1)

125.
スリーアズフォー／
ガブリエル・アスフォー、
アンジェラ・ドンハウザー、
アディ・ギル
ヴィデオ「バラレル・ユニヴァース」
2023年秋冬クチュール
threeASFOUR

このコレクションはコロナ禍のなか、ビデオ
ゲームの形式で発表されました。舞台は
2031年。ブティックや街の中を進むと、バ
レンシアガの服を着たアバターたちに遭遇
します。ゲームの終盤、プレイヤーは中世
風の甲冑をまとい登場します。デザイナー
のデムナ・ヴァザリアは、このコレクションを
通じて「古代の神秘的な力と現代の人び
との意識のバラレルな状況」を描いたと語
ります。リアルとヴァーチャルが交差する現
代社会のなから希望を見出し、可能性
を模索しようとするデザイナーの意志が強
く感じられる作品のひとつです。

127.
バレンシアガ
「アフターワールド：
ジ・エイジ・オブ・トゥモロー」
2021年秋
ヴィデオ
BALENCIAGA

128.
ヴィクター& ロルフ／
ヴィクター・ホステイン、ロルフ・ス
ノラン
サンダル
2004年春夏
皮革
KCI (Inv. AC11073 2003-41AB)

129.
ロエベ／ジョナサン・アンダーソン
ドレス
2022年秋冬
レーヨン・ジャージー、樹脂コーティング
KCI (Inv. AC13884 2022-11)

130.
原田裕規
《シャドーイング》
2022年- (進行中)
作家蔵

130-1.
《シャドーイング (トミゴロウ)》
2023年
ヴィデオ (WXGA、カラー、サウンド)
5分18秒
脚本・編集・監督：原田裕規
朗読：比嘉ラリー、原田裕規
ビジン英語：比嘉ラリー
英文編集：ジェームス・ケティング
協力：大谷マリー、比嘉美代、塚本麻莉
底本：宮本常一「梶田富五郎翁」『海ゆ
かば』

130-2.
《シャドーイング (リエ)》
2024年
ヴィデオ (WXGA、カラー、サウンド)
5分2秒
脚本・編集・監督：原田裕規
朗読：カレン・プレステージ、原田裕規
ビジン英語：カレン・プレステージ
英文編集：ジェームス・ケティング
熊本弁：坂本顕子
コーディネーター：鄭真美
底本：バーバラ・F・川上『ハワイ日系移民
の服飾史』

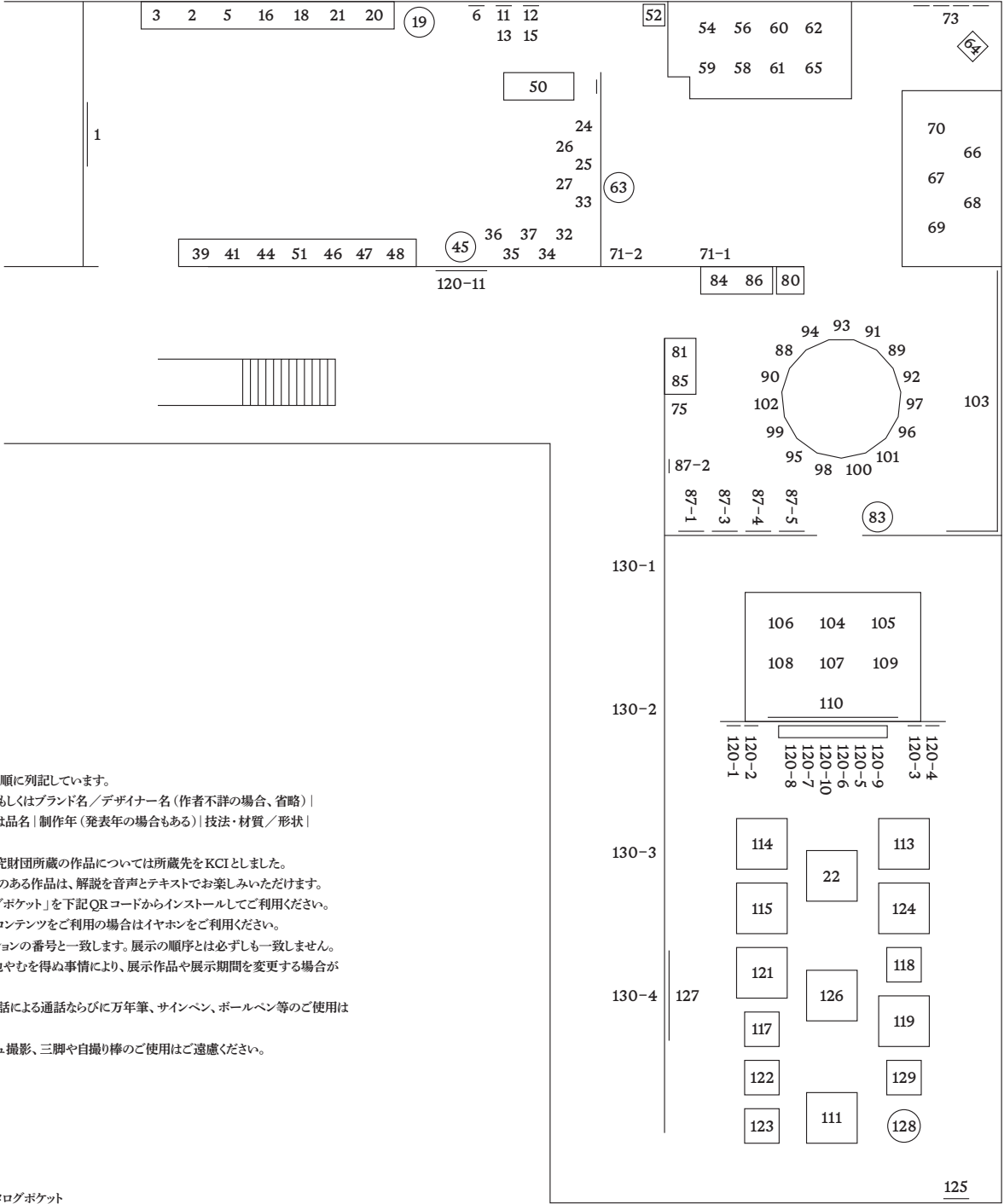
130-3.
《シャドーイング (イザベラ)》
2024年
ヴィデオ (WXGA、カラー、サウンド)
2分45秒
脚本・編集・監督：原田裕規
朗読：リー・トノウチ、原田裕規
ビジン英語：リー・トノウチ
日本語訳：アレン律子、アレン朝子、アレン
日光
那覇方言：神谷ヒロミ(みいぐる)
コーディネーター：ランカスター 典子
底本：リー・トノウチ「マウイのおばあちゃ
んの後悔」

130-4.
《シャドーイング (スズ)》
2023年
ヴィデオ (WXGA、カラー、サウンド)
5分15秒
脚本・編集・監督：原田裕規
朗読：大谷マリー、原田裕規
ビジン英語：大谷マリー
英文編集：ジェームス・ケティング
山口弁：藤井博子
協力：カリ・アレクサンダー、リーン・ミチ
エ・キムラ
底本：バーバラ・F・川上『ハワイ日系移民
の服飾史』

LOVE ファッション―私を着がえるとき LOVE Fashion: In Search of Myself

2025年4月16日(水)―6月22日(日)
東京オペラシティ アートギャラリー

[主催] 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団、公益財団法人 京都服飾文化研究財団 (KCI)
[協賛] NTT 都市開発リート投資法人 [特別協力] 株式会社ワコール
[協力] 株式会社七彩、株式会社ルシアン、ヤマト運輸株式会社、吉忠マネキン株式会社
[助成] 公益財団法人大林財団、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団 [後援] 在日スイス大使館



凡例
・作品データは、次の順に列記しています。
作品No. | 作家名、もしくはブランド名／デザイナー名 (作者不詳の場合、省略) |
作品タイトル、もしくは品名 | 制作年 (発表年の場合もある) | 技法・材質／形状 |
寸法 | 所蔵
*京都服飾文化研究財団所蔵の作品については所蔵先をKCIとしました。
・音声ガイドマーク㊦のある作品は、解説を音声とテキストでお楽しみいただけます。
無料アプリ「カタログポケット」を下記QRコードからインストールしてご利用ください。
*展示室内で音声コンテンツをご利用の場合はイヤホンをご利用ください。
・作品番号はキャプションの番号と一致します。展示の順序とは必ずしも一致しません。
・作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、展示作品や展示期間を変更する場合があります。
・会場内での携帯電話による通話ならびに万年筆、サインペン、ボールペン等のご使用は
お断りします。
・動画撮影、フラッシュ撮影、三脚や自撮り棒のご使用はご遠慮ください。



カタログポケット

横山奈美 《LOVE》 2018年 油彩、麻布 182.0×227.3 豊田市美術館	18. ピエール・バルマン／ ピエール・バルマン イヴニング・ドレス 1956年春夏 絹タフタ・シネ、パッチワーク、絹ファイユ KCI (Inv. AC10365 2000–33)	19. ロエベ／ジョナサン・アンダーソン ミュール 2022年春夏 キッド、化繊のクレープ KCI (Inv. AC13864 2021–17AB)	20. メゾン・マルジェラ／ ジョン・ガリアーノ ジャンプスーツ、ベルト 2019年春夏 ポリエステル縮緬、白糸と銀糸刺繍、エナメル KCI (Inv. AC13812 2020–16)	21. マメクロゴウチ／黒河内真衣子 ドレス 2018年秋冬 絹とポリエステルの平織、ジャカード、刺繍、プリント、レース、楊柳 KCI (Inv. AC13660 2018–25–2)	22. ヴィクター&ロルフ／ ヴィクター・ホスティン、 ロルフ・スノラン コート 2003年春夏 綿ツイル、造花、サテンのカフ KCI (Inv. AC11680 2007–26–2AR Viktor & Rolf 寄贈)	24. 帽子 (キャノティエ) 1907年頃 ストロー、絹ベルベットのリボン、マジロアジサシの頭部とギンケイの両翼と背の羽根 KCI (Inv. AC4667 83–26–8A)	19世紀後半、極楽島やハチドリを初めてする珍しい島が南太平洋、オーストラリア、インドネシア諸島、中米などで大量に狩猟されました。欧米に輸出し、主に帽子や扇などの素材に使うためです。羽根だけでなく刺繍まで装飾として用いられました。ロンドンのあるディーラーが1892年に行ったある注文では、極楽島6,000羽、ハチドリ40,000羽、東インド諸島の鳥の羽360,000枚が含まれていたほどです。同時に、英米などでは鳥類保護団体の結成や、取引を規制する法案の成立など、乱獲や売買を抑制する動きも盛んに行われました。	25. 帽子 1910年頃 ストロー製、絹製の造花、絹サテンのリボン、鳥の剥製 (セキレイ科の鳥の頭部と両翼に、不明種の鳥の羽を加えて成形) KCI (Inv. AC4666 83–26–7)	26. 帽子 1910年頃 獣毛のブラッシュ、ギンケイの剥製、絹タフタのリボン KCI (Inv. AC6077 88–56–153)
2. ドレス (ロープ・ア・ラ・フランセーズ) 1775年 (素材は1760年代) 横畝地 (カスレ)、プロシェ (縫い取り織)、絹ブローケード KCI (Inv. AC11075 2004–2AB)	3. スーツ (アビ・ア・ラ・フランセーズ) 1810年頃 ウールのブロードクロス、刺繍、くるみ鉤 KCI (Inv. AC12 77–5–5AC)	18世紀にヨーロッパ貴族のフォーマル・ウェアとして発展したアビ・ア・ラ・フランセーズ。上着のコート、シャツの上に着るウエストコート、半ズボンのブリーチズを組み合わせた三つ揃いを基本とし、現代のビジネス・スーツまで続く男性服の原型となりました。今日のスーツと違うのは、三つのピースそれぞれに施された草花模様の数々。多色の絹糸や金属糸、シークインやラインストーンを用いて、主には刺繍、ときに織り柄も組み合わせながら表現される花々は、貴族社会の劇場的な華々しさを装いの面で強化しています。	5. イヴニング・ドレス 1855年頃 絹とウールのゴーズ、プリント KCI (Inv. AC9475 97–23–6AB)	6. ウエストコート 1740年代 絹ダマスク、金銀糸や色糸のブローケード、金糸のくるみ鉤 KCI (Inv. AC4867 84–21–3)	11. ウエストコート 1780年頃 絹カスレ、シークイン、ベースト (鉛ガラス)、色糸刺繍、共布のくるみ鉤 KCI (Inv. ACS530 87–8–1C)	12. ウエストコート 18世紀後半 絹ファイユ、刺繍、共布のくるみ鉤 KCI (Inv. AC11717 2007–35–3A)	13. ウエストコート 1790年頃 絹サテン、刺繍、共布のくるみ鉤 KCI (Inv. AC12618 2011–23–4)	15. ウエストコート 1790年頃 絹ファイユ、刺繍、共布のくるみ鉤 KCI (Inv. ACS667 87–35–1)	16. ドゥーセ／ジャック・ドゥーセ イヴニング・ドレス 1905年頃 絹、ダマスク織、チュール、造花、リボン KCI (Inv. AC10796 2003–2–4AB)
27. 帽子 1910年頃 獣毛のフェルト、絹ベルベット、クジャク類の体羽と不明種の鳥の羽根 KCI (Inv. AC4258 82–15–4)	32. ヘッドドレス 1940年代 フウチョウ類の飾り羽、コム KCI (Inv. AC5428 86–31–11)	33. ヘッドドレス 1940年代 アカカザリフウチョウの飾り羽根、コム KCI (Inv. AC5429 86–31–12)	34. ル・モニエ／ジャンヌ・ル・モニエ ペレー 1946年頃 獣毛のフェルト、フウチョウ科の頭部、インコ科の体羽、キンケイの飾り羽と尾羽 KCI (Inv. AC6021 88–56–97 ドミニク・シロー氏寄贈)	35. スザンヌ・ピアッツェ 帽子 1950年代 芯地、サギ科の羽根 KCI (Inv. AC6054 88–56–130)	36. カロリース・ルブー トーク 1950–56年 獣毛のフェルト、オナガギジの背の羽根 KCI (Inv. AC12372 2010–18–8)	37. デリオン 帽子 1950年頃 獣毛のフェルト、サテンのリボン、不明種の鳥の両翼の羽根 KCI (Inv. AC10669 2001–29–13)	39. ウォルト店／ ジャン＝フィリップ・ウォルト イヴニング・コート 1900年頃 絹ベルベット、ニードルポイント・レース、アップリケ、ダチョウの羽根 KCI (Inv. AC4160 81–27–21)	41. ジョージ・ナイズ ジャケット 1930年代 コロボス属の毛皮 KCI (Inv. AC10991 2003–26 金井純氏寄贈)	44. ケーブ 1960年代後期 ダチョウの羽根 KCI (Inv. AC11392 2006–1–13 ミシェル・ヴァンチュール氏寄贈)
46. ステラ・マッカートニー コート 2015年秋冬 アクリルのフェイク・ファー KCI (Inv. AC13498 2017–20)	47. ポツテガ・ヴェネタ／ ダニエル・リー コート 2021年秋 ラム・ファー KCI (Inv. AC13934 2023–12)	48. キム・ヘキム／キンミンテ・キム・ヘキム ドレス、ブーツ 2022年秋冬 人工毛、ポリエステル、カーフスキンのライニング KIMHEKIM	50. 小谷元彦 《ダブル・エッジド・オヴ・ソウト (ドレス2)》 1997年 毛髪、発色現像方式印画 ドレス：172.0×67.0×3.0 写真：23.5×18.5 金沢21世紀美術館	51. J・C・ド・カステルバジャック／ ジャン＝シャルル・ド・カステルバジャック コート 1988年秋冬 化繊のフェイク・ファー KCI (Inv. AC13489 2017–13)	52. コルセット 1870年頃 木綿の変り織、スチール製バスコ、ボン KCI (Inv. AC4036 81–25–150AB)	54. バレンシアガ／ クリストバル・バレンシアガ イヴニング・ドレス、ブローチ 1964年秋冬 1964年春夏 (ブローチ) 絹ガザール、模造パール、ラインストーン KCI (Inv. AC7012 91–19–1AB、 AC7013 91–19–1D)	55. バレンシアガ／ デムナ・ヴァザリア ドレス、フェイススリット 2022年秋冬オートクチュール ネオプレン、ポリウレタン BALENCIAGA	56. クリスチャン・ディオール／ クリスチャン・ディオール デイ・ドレス「シガール」 1952年秋冬 絹オットマン・モワレ、ナイロン・チュール KCI (Inv. AC391 77–13–8AC)	57. クリスチャン・ディオール／ クリスチャン・ディオール イヴニング・ドレス 1951年春夏 絹ファイユ、絹チュール KCI (Inv. AC10746 2002–8–2)
58. クリスチャン・ディオール／ クリスチャン・ディオール イヴニング・ドレス 1951年春夏 絹ファイユ、絹チュール KCI (Inv. AC11720 2007–36–2)	59. バレンシアガ／ クリストバル・バレンシアガ イヴニング・ドレス 1951年冬 絹ベルベット、絹チュール KCI (Inv. AC9559 98–13AC)	60. クリスチャン・ディオール／ ジョン・ガリアーノ スーツ、チョーカー 1997年秋冬オートクチュール ウール・ツイード KCI (Inv. AC9328 96–13–2AB)	61. ヨウジヤマモト／山本耀司 ドレス、スカート 1996年秋冬 ウール・フェルト、ウール・ニット KCI (Inv. AC9328 96–13–2AB)	62. ジル・サンダー／ラフ・シモンズ ドレス 2009年秋冬 ウール・フェルト、ウール・フランネル KCI (Inv. AC12622 2011–25–1)	63. 舘鼎則孝 靴 2010年 牛革 KCI (Inv. AC12907 2012–30AB)	64. 笠原恵美子 《Untitled Slit #1》 1995年 大理石 35.0×26.0×12.7 京都国立近代美術館	65. バレンシアガ／ デムナ・ヴァザリア ドレス、フェイススリット 2022年秋冬オートクチュール ネオプレン、ポリウレタン BALENCIAGA	66. コム・デ・ギャルソン／川久保玲 ドレス、アンダードレス 1997年春夏 ナイロン／ポリウレタン・ジャージー、ポリエステル／ポリウレタン・ジョーゼット KCI (Inv. AC9413 96–32–9AB)	67. コム・デ・ギャルソン／川久保玲 ドレス 1997年春夏 ナイロン／ポリウレタン・ジャージー KCI (Inv. AC9412 96–32–8A)
71-1. シルヴィ・フルーリー 《No Man’s Time》 2023年 アルミ複合版ミラー、デジタル印刷 250×250 スプリュース・マーガース	71-2. シルヴィ・フルーリー 《フィッティング・ルーム》 2023年 金属フレーム、布 270×130×130 スプリュース・マーガース	72. シルヴィ・フルーリー 《フィッティング・ルーム》 2023年 金属フレーム、布 270×130×130 スプリュース・マーガース	73. 澤田知子 《ID400》 1998年 ゼラチン・シルバー・プリント (400点組) (各) プリント：11.6×8.9 / 額：121.5×96.4 京都国立近代美術館	75. ジュミーズ 1920年代 絹クレープ・デ・シン、レース KCI (Inv. AC1526 78–39–58)	80. ネンシ・ドジョカ ドレス 2021年秋冬 絹ジョーゼット、ポリエステル KCI (Inv. AC13890 2023–1)	81. シャネル／カール・ラガーフェルド ブラ・トップ 1996年春夏 化繊、刺繍 KCI (Inv. AC13827 2020–22)	82. サルバトーレ・フェラガモ／ サルバトーレ・フェラガモ サンダル 1947年 スウェード、ナイロン・ワイヤー KCI (Inv. AC11714 2007–34–1AB)	83. ジヴァンシー／ アレキサンダー・マックイーン ブラウス、ビスチエ、ショーツ 2001年春夏 綿ネット、綿ゴーズ KCI (Inv. AC10452 2001–8–2AC ジバンシィ・ジャボン株式会社寄贈)	84. ジヴァンシー／ アレキサンダー・マックイーン ブラウス、ビスチエ、ショーツ 2001年春夏 綿ネット、綿ゴーズ KCI (Inv. AC10452 2001–8–2AC ジバンシィ・ジャボン株式会社寄贈)
87-1. 松川朋奈 《それでも私が母親であることには変わらない》 2018年 油彩、綿布、木製パネル 91.0×65.2 個人蔵	87-2. 松川朋奈 《誰か、私の名前を知ってくれている人と話したかった》 2024年 油彩、キャンバス 145.5×97.0 京都国立近代美術館蔵 (牧寛之氏寄贈)	87-3. 松川朋奈 《私が当時そうだったように、彼女も今は気づかないでしょう》 2024年 油彩、キャンバス 80.3×56.0 作家蔵	87-4. 松川朋奈 《いつになったら、満足できるのだろう》 2024年 油彩、キャンバス 162.0×97.0 作家蔵	87-5. 松川朋奈 《でもそれでいいんだと思う》 2024年 油彩、キャンバス 53.0×41.0 作家蔵	88. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ストラップ 2003年春夏 化繊のニット KCI (Inv. AC12335 2010–11–122D Helmut Lang 寄贈)	89. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ベルト 2002年春夏 綿ツイル、合成ゴム、金属 KCI (Inv. AC12263 2010–11–50B Helmut Lang 寄贈)	90. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング アーム・カバー 2003年春夏 綿ニット KCI (Inv. AC12327 2010–11–114DE Helmut Lang 寄贈)	91. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング トップ 2002年秋冬 カンミア／絹のリブ編 KCI (Inv. AC12281 2010–11–68A Helmut Lang 寄贈)	92. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ストラップ 2003年春夏 化繊のニット KCI (Inv. AC12289 2010–11–76B Helmut Lang 寄贈)
93. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング カーディガン 2003年春夏 綿ニット、プラスチックのボタン KCI (Inv. AC12336 2010–11–123 Helmut Lang 寄贈)	94. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ストラップ 2002年春夏 綿ニット KCI (Inv. AC12275 2010–11–62D Helmut Lang 寄贈)	95. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング スカート 2004年春夏 綿ニット KCI (Inv. AC12315 2010–11–102D Helmut Lang 寄贈)	96. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ベルト 2003年春夏 綿／化繊のニット KCI (Inv. AC12317 2010–11–104B Helmut Lang 寄贈)	97. ヘルムート・ラング／ヘルムート・ラング オーバershーツ 2003年秋冬 綿ツイル KCI (Inv. AC12277 2010–11–64F Helmut Lang 寄贈)	98. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ハーネス 2003年秋冬 綿テープ、プラスチック KCI (Inv. AC12286 2010–11–73CD Helmut Lang 寄贈)	99. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ベルト 2003年春夏 綿ニット、綿リブ編 KCI (Inv. AC12310 2010–11–97B Helmut Lang 寄贈)	100. ヘルムート・ラング／ヘルムート・ラング タンクトップ 2002年春夏 綿ニット KCI (Inv. AC12329 2010–11–116B Helmut Lang 寄贈)	101. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ショルダー・ストラップ 2003年春夏 化繊のニット KCI (Inv. AC12266 2010–11–53E Helmut Lang 寄贈)	102. ヘルムート・ラング／ ヘルムート・ラング ドレス 2004年春夏 綿／化繊のニット KCI (Inv. AC12324 2010–11–111C Helmut Lang 寄贈)
87-6. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-7. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-8. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-9. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-10. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-11. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-12. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-13. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-14. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館	87-15. ヴォルフガング・ティルマンズ 《Kyoto Installation 1988–1999》 2000年 発色現像方式印画 (1–16、18–22)、インクジェット・プリント (17)／インスタレーション インスタレーション：269.0×976.8 京都国立近代美術館